

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人しあわせなみだ

▽報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

DV・失業等により施設で暮らす女性・子どものための自活応援講座

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

【目的】施設で暮らす女性・子どもが、DV等の暴力により傷ついた心身を癒し、施設退所後に役立つスキルを身に付けることで、これからの人生に自信を持つことを応援します。
 【背景】多摩地域には、DV・失業等を経験した女性・子どもが暮らす施設があります。入所中には、経済的自立に向けた支援(仕事探し、技術習得など)や退所後の安全確保に向けた支援(アパート探し、離婚調停、債務整理など)等が実施されています。しかし、施設退所後が、彼女たちの人生の「本当の」再スタートとなるために、施設入所中から生活スキルを身に付けるための訓練が必要です。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

施設で暮らす女性・子どもが、施設退所後の生活に役立つ“生活力”を身に付けるため、また、心の回復のために、講座を実施しました。
 1)メーク講座:メークを通じて自分と向き合う時間を作ることで、心と身体の回復を図りました。(講師:メンタルケアメーク21)
 2)収納掃除講座:モノの捨て方、整理の仕方、なぜ整理整頓が必要かを学ぶことで、「モノの整理はココロの整理」であることを理解しました。(講師:NPO 法人日本ハウスクリーニング協会)

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

・メーク講座は、自分の手で自分の身体に触れ、メークを施していくことで、自分への自信を取り戻すきっかけ、自己承認を促すよう工夫しました。その結果、受講者へのアンケートでは、「これからの生活に自信がついた」という問いに、84%が「そう思う」と回答する効果がありました。
 ・収納掃除講座は、快適な空間づくりによる、衛生状況の改善が、心身の安定をもたらすよう、工夫しました。その結果、受講者へのアンケートでは、「収納掃除をすると心も整理できるか」という問いに、91%が「そう思う」と回答する効果がありました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

【所感】暴力で傷ついた心を癒しながら、生活再建を図るために、懸命に生活する女性・子どもを支援することで、多摩地域のセーフティネットの強化に貢献できたと考えます。さらに施設退所後、地域社会で安定した生活を継続できることは、多摩地域の安全へと繋がると考えます。
 【感想】講座受講者へのアンケートでは、「皆さんの目が、少しずつきらきらしてきていました。」「前向きな気持ちになりました。」「今回の講座を聞いて新たな考え方ができました。」「心の不安定さが体調にも響き、片づけがおっくうになっていた。足がかりがつかめました。」といった回答が寄せられました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。	参考資料あり ・ 特になし
---	---------------

